



桶川市第五次総合振興計画 後期基本計画



平成28年4月

桶川市

概要版



計画の性格、構成、期間

性格

本計画は、本市の行政運営に関し基本となる計画であり、その計画を実現するための具体的な諸施策の策定及び実施にあたって指針となるものです。

また、効率的な行政運営を計画的に進めるために定めた指標に基づき、進行管理や評価を行います。

構成と期間

桶川市第五次総合振興計画は、長期計画としての「基本構想」、中期計画としての「基本計画」、短期計画としての「実施計画」の3段階により構成します。

基本構想

基本構想は、長期的な視点から、本市の基本理念と将来像及び施策の取組の方向を示したものです。

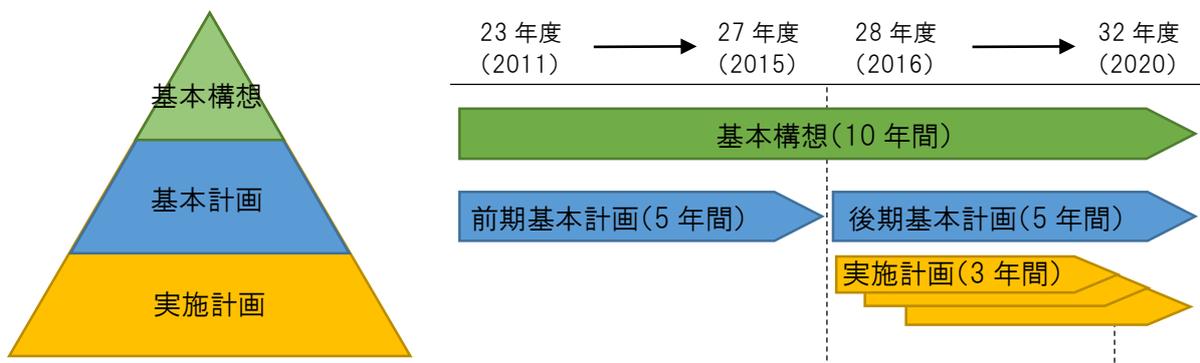
計画期間は、平成 23 年度から平成 32 年度までの 10 年間とします。

基本計画

基本計画は、基本構想に基づき行政の分野ごとに現状と課題を明らかにし、必要な施策を総合的、体系的に定めたものです。基本的に 5 年間で単位とした計画で、前期基本計画は平成 23 年度から平成 27 年度まで、後期基本計画は平成 28 年度から平成 32 年度までを計画期間とします。

実施計画

実施計画は、基本計画で示された施策について、財政状況や社会経済情勢を考慮し、より具体的な事業を定めたものです。計画期間は3年間とし、原則として毎年度見直しを行います。

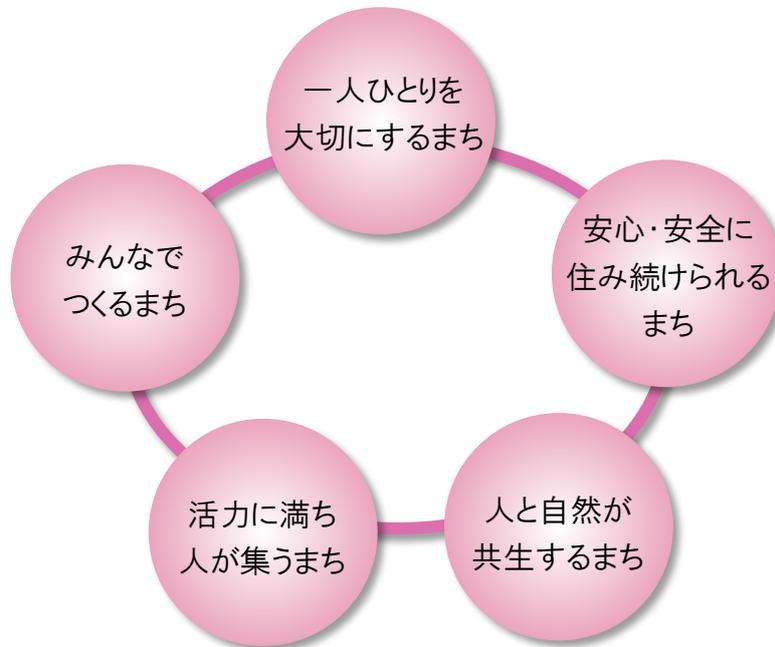


基本構想

■ 基本理念

桶川市第五次総合振興計画基本構想の基本理念は、本市のまちづくりを行っていく上で最も重要な基本姿勢であり、市民と行政が共有する基本的な考え方です。

基本理念としては、次の5つを掲げます。



■ 将来像

みんなでつくり育む 活気あふれる交流拠点都市 おけがわ

「みんなで つくり 育む」とは市民一人ひとりがまちづくりの担い手となり、積極的に参加することを示し、市民、市民公益活動団体、企業及び事業者等が市(行政)との協働のまちづくりを進めることを示します。

また、まちの歴史や文化をみんなで見つめ、個性や魅力を大切な宝ものとして、いかしていくという姿勢を示しています。

「交流拠点都市」とは、首都圏中央連絡自動車道など広域幹線道路の結節点という交通利便性をいかし、周辺環境との調和の中で新たな産業の集積や企業誘致などを進めながら、市の発展を目指すとともに、祭りやイベントなどを通じて、地域の魅力にふれあい、人々が集い、交流する場や機会を増やすことにより、にぎわいのあるまちづくりを進め、人・モノ・情報などあらゆる交流の拠点となる都市の将来の姿を示しています。

■ まちづくりの枠組み

【土地利用の方針】

歩いて暮らせる まちづくり

- 1万人以上の小学校区域を日常の生活圏、中学校区域を地域生活圏として位置づけます。
- 桶川駅周辺の中心市街地は、「都市拠点」として、拠点性を確保します。
- 東西の地域生活圏ごとに歩いて暮らせるまちの中心的な役割を果たす「地域生活拠点」を整備します。
- 既存集落の中心的な区域となる「コミュニティ拠点」の充実を図ります。
- 市内をつなぐバス交通・自転車ネットワークを充実します。

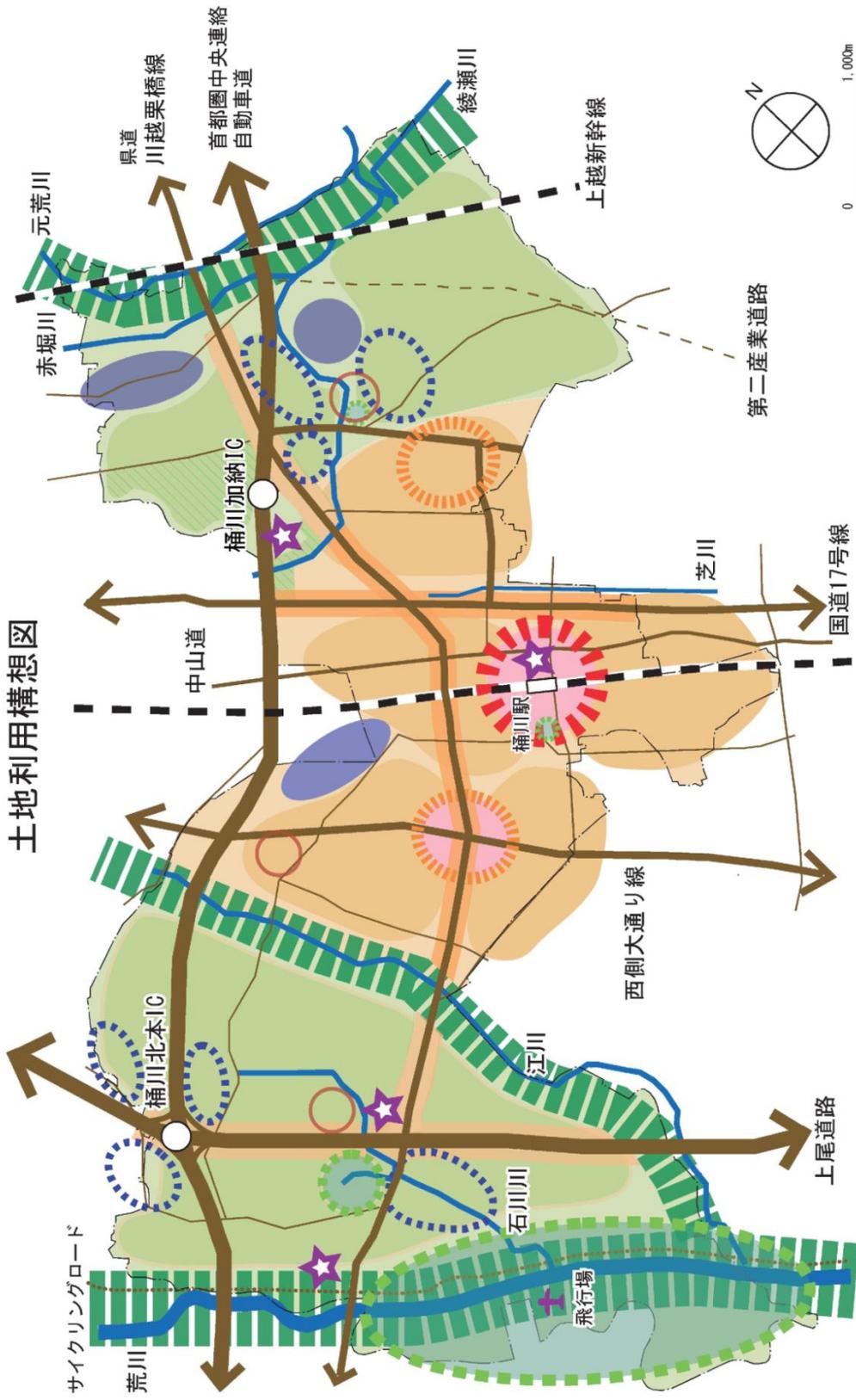
広域交通網を いかした まちづくり

- 桶川加納インターチェンジ及び桶川北本インターチェンジ周辺は、「複合開発エリア」として位置づけ、製造業や流通業務施設などの産業立地を誘導します。
- 国道17号線、県道川越栗橋線、上尾道路は、「沿道サービス軸」として位置づけます。
- 県道川越栗橋線及び西側大通り線の交差部には、広域的交通網をいかした商業施設など都市機能の充実を図ります。
- 市内に「観光まちづくり拠点」を位置づけ、人・モノ・情報が交流する場として形成します。

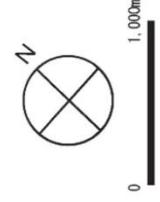
水辺と農が 調和する まちづくり

- 自然再生推進法に基づく自然再生の取り組みが、荒川の旧流路を中心に市民と行政が一体となって進められており、湿地環境の保全や旧流路の復元により自然、生態系の保全・再生を目指します。
- 優良農地を保全し、農業を活性化します。
- 赤堀川では、桜堤の保全を行い、元荒川などではサイクリングロードの整備を図ります。
- 中小河川の源流地点や江川など水辺、「公園・みどりの拠点」などをめぐる散歩ルートを整備します。
- 優良農地、屋敷林など田園風景を保全します。
- 体験農園や直売所など、幅広い農業の振興を図ります。

土地利用構想図



- 市街地ゾーン
- 田園ゾーン
- 田園ゾーン
農住調和地区
- 工業系ゾーン
- 商業系ゾーン
- 複合開発エリア
- 都市拠点
- 地域生活拠点
- コミュニティ拠点
- 観光まちづくり拠点
- 公園・みどりの拠点
- 緑・水辺軸
- 沿道サービス軸
(市街化区域)
- 沿道サービス軸
(市街化調整区域)
- 道路
- 河川
- 飛行場



後期基本計画 施策体系

基本理念

将来像

施策の大綱

施策

一人ひとりを
大切に
するまち

安心・安全に
住み
続けられる
まち

人と自然が
共生する
まち

活力に
満ち
人が
集う
まち

みんな
で
つくる
まち

みんな
で
つくり
育て
活気あふれる
交流拠点都市
おけがわ

施策の大綱1
だれもが主役の
桶川をつくる
【参画・協働】

- 101 協働の推進
- 102 自主的活動の推進と交流促進
- 103 男女共同参画社会の推進

施策の大綱2
生きる力を^{はぐく}育み
次代に繋げる
桶川をつくる
【教育・文化】

- 201 就学前教育の支援・充実
- 202 学校教育の充実
- 203 青少年の健全な育成
- 204 生涯学習・生涯スポーツの充実
- 205 人権教育・啓発と平和の推進
- 206 文化・芸術の振興・保存・継承

施策の大綱3
共に支え合い
いきいきと
暮らせる
桶川をつくる
【健康・福祉】

- 301 健康づくりの推進・医療の充実
- 302 子育て支援の充実
- 303 高齢者施策の充実
- 304 障害者(児)支援の充実
- 305 地域福祉の推進
- 306 自立した生活への支援体制の充実
- 307 ノーマライゼーションの推進

施策の大綱4
環境にやさしく
安心・安全に
住み続けられる
桶川をつくる
【市民生活】

- 401 地球温暖化対策の推進
- 402 資源循環型社会の構築
- 403 快適で衛生的な地域環境の創出
- 404 防災対策の推進
- 405 防犯まちづくりの推進
- 406 交通安全対策の推進
- 407 安全な消費生活の確保

施策の大綱5
みどりと調和した
暮らしやすい
桶川をつくる
【みどり・都市基盤】

- 501 良好な住環境の創出と保全
- 502 歩いて暮らせるまちの実現
- 503 魅力あるまちづくりへの新たな取組
- 504 都市計画道路の整備
- 505 生活道路の整備・改善
- 506 憩いの自然空間の保全と活用
- 507 みどり空間の創出
- 508 治水対策の推進

施策の大綱6
にぎわいと
活力ある
桶川をつくる
【産業】

- 601 農業の振興
- 602 工業の振興
- 603 商業の振興
- 604 観光の振興
- 605 就労支援と勤労者福利厚生

施策の大綱7
計画的で
将来を見据えた
桶川をつくる
【行財政運営】

- 701 計画行政の推進
- 702 経営的な視点からの財政運営
- 703 情報共有の推進
- 704 広域行政の推進

施策の大綱 1

だれもが主役の桶川をつくる



【参画・協働】

地域の課題や市民ニーズに的確に対応するためには、市民、市民公益活動団体、企業及び事業者等、市(行政)の協力が不可欠です。

また、年齢、性別、国籍などにとらわれず、だれもがまちづくりに参加することが必要です。

このため、男女共同参画社会を推進するとともに、市民やNPO、ボランティア、企業など多彩な人々や団体間のさまざまな交流を促進し、みんなで協力し合い地域の課題を解決するまちをつくります。

【各施策において「目指す姿」と達成状況を測るための指標】

※施策の目的達成度を測るための指標の目標値については、特に記載がない限り、後期基本計画最終年度の平成 32 年度までに達成すべき数値を示しています。

施策 101 協働の推進

目指す姿

- 協働の手法やルールが確立され、市民が主体的にまちづくりに関わり活動している

	指 標	現状値	目標値
1	協働事業実施件数(自治文化課)	29 件 (平成 26 年度)	40 件
2	協働まちづくりが進んでいると思う市民の割合 (市民アンケート)	18.7% (平成 26 年度)	40%

施策 102 自主的活動の推進と交流促進

目指す姿

- まちづくりへの理解を深め、ボランティア活動等を通して参画している
- いろいろな団体が交流しながらまちづくり活動を行っている
- 多様な国際交流活動を展開している

	指 標	現状値	目標値
1	市民活動サポートセンター登録団体数(自治文化課)	105 団体 (平成 26 年度)	140 団体
2	国際交流イベントの参加者数(自治文化課)	0 人 (平成 26 年度)	300 人
3	自治会・町内会等の地域活動に満足している市民の割合 (市民アンケート)	17.3% (平成 26 年度)	20%

施策 103 男女共同参画社会の推進

目指す姿

- 男女が互いに理解し、それぞれの生き方や価値観を尊重しながら、社会のあらゆる分野で活躍している

	指 標	現状値	目標値
1	審議会等における女性委員の割合(人権・男女共同参画課)	27.5% (平成 26 年度)	40%
2	セミナー・講演会等の実施回数(人権・男女共同参画課)	3回 (平成 26 年度)	6回
3	社会全体において男女が平等だと思える市民の割合 (市民アンケート)	24.3% (平成 26 年度)	40%

施策の大綱 2

生きる力を育み 次代に繋げる桶川をつくる



【教育・文化】

将来にわたって、まちの活力を持続するためには、子どもたちが創造性豊かに育つ環境づくりと、市民がさまざまな分野で学習し、個性や能力をいかす場が求められています。

このため、よりよい教育環境づくりの推進、生涯学習機会の充実などを図ることで、市民が自然や地域の文化にふれ、人格を磨き、学び、個性や価値観を認め合いながら、生きがいのある豊かな人生を築くことができるまちをつくります。

【各施策において「目指す姿」と達成状況を測るための指標】

施策 201 就学前教育の支援・充実

目指す姿

- 心身共に健やかに成長している
- 子どもの成長を相談する環境が整っている

	指 標	現状値	目標値
1	小・中学校入学前における「親の学習」講座への参加率 (生涯学習文化財課)	93% (平成 26 年度)	93%
2	幼児家庭教育セミナーの参加者数(公民館)	172 人 (平成 26 年度)	200 人

施策 202 学校教育の充実

目指す姿

- 生きる力(確かな学力、豊かな心、健やかな体)を身に付けている

	指 標	現状値	目標値
1	全国学力・学習状況調査における達成率 (上段:小学生、下段:中学生)(学校支援課)	全国平均を上回った数 10 項目 /16 領域	全国平均を上回った数 13 項目 /16 領域
		全国平均を上回った数 10 項目 /16 領域 (平成 26 年度)	全国平均を上回った数 13 項目 /16 領域
2	学校応援団コーディネーター研修会受講者累計人数 (学校支援課)	5 人 (平成 26 年度)	25 人

施策 203 青少年の健全な育成

目指す姿

- 基本的な社会生活習慣を身に付けている
- 家庭と地域が連携して安心・安全な生活を営んでいる

	指 標	現状値	目標値
1	成人式典の出席率(生涯学習文化財課)	80.4% (平成 26 年度)	82%
2	青少年健全育成市民大会の参加者数(生涯学習文化財課)	160 人 (平成 26 年度)	230 人
3	巡回指導の延べ人数(生涯学習文化財課)	175 人 (平成 26 年度)	190 人

施策 204 生涯学習・生涯スポーツの充実

目指す姿

- いつでも、どこでも、学習する場がある
- 年齢や体力などに応じてスポーツに取り組んでいる

指 標		現状値	目標値
1	公民館講座数(公民館)	47 講座 (平成 26 年度)	55 講座
2	公民館利用率(年間公民館利用者数/市人口)(公民館)	148% (平成 26 年度)	195%
3	図書館利用者数(図書館)	110,718 人 (平成 26 年度)	155,000 人
4	スポーツ・レクリエーション活動に満足している市民の割合 (スポーツ振興課)	8.5% (平成 26 年度)	8.8%

施策 205 人権教育・啓発と平和の推進

目指す姿

- 人権と平和に対する理解と認識が深まっている
- 人権と平和が尊重される社会づくりのために行動している

指 標		現状値	目標値
1	人権教育担当者研修会の参加者の満足度(学校支援課)	-	90%
2	集会所成人学級講座の参加者数(生涯学習文化財課)	429 人 (平成 26 年度)	450 人
3	憲法・人権市民のつどいの参加者数 (自治文化課、人権・男女共同参画課、生涯学習文化財課)	150 人 (平成 25 年度)	200 人
4	平和を考える 10 日間事業のイベント参加者数(自治文化課)	300 人 (平成 26 年度)	300 人

施策 206 文化・芸術の振興・保存・継承

目指す姿

- 多様な文化芸術にふれ親しんでいる
- 地域の歴史や文化財を大切にしている

指 標		現状値	目標値
1	市民芸術文化祭参加者数(発表者及び観客の合計) (自治文化課)	3,367 人 (平成 26 年度)	4,200 人
2	市民ホール利用者数(自治文化課)	114,853 人 (平成 26 年度)	120,000 人
3	文化財の解説板の新設及び改修件数(生涯学習文化財課)	15 件 (平成 26 年度)	27 件
4	文化財の指定件数(生涯学習文化財課)	49 件 (平成 26 年度)	51 件
5	文化・芸術活動に満足している市民の割合(市民アンケート)	9.9% (平成 26 年度)	17%
6	資料の収蔵件数(歴史民俗資料館)	26,700 点 (平成 26 年度)	30,000 点

施策の大綱 3

共に支え合い いきいきと暮らせる桶川をつくる



【健康・福祉】

すべての市民が心身ともに健康で、安心して毎日を送れるとともに、市民一人ひとりが、自らの能力をいかして社会の中で活躍し、生きがいを持って暮らせるしくみづくりが求められています。

このため、市民の健康づくりに対する支援や、保健・医療体制の充実、子育て支援対策、高齢者の介護予防、障害のある人の自立支援の充実を図ることで、住み慣れた地域において共に支え合うしくみを形成し、住み続けることができるまちをつくります。

【各施策において「目指す姿」と達成状況を測るための指標】

施策 301 健康づくりの推進・医療の充実

目指す姿

- 生涯にわたり健康な生活を送ることができる
- 身近な地域で医療を受けることができる
- 安定した医療保険制度により医療を受けることができる

	指 標	現状値	目標値
1	健康づくりサポーターの養成人数(健康増進課)	286人 (平成26年度)	430人
2	大腸がん検診受診率(健康増進課)	32.7% (平成26年度)	35%
3	高齢者インフルエンザ予防接種率(健康増進課)	44.8% (平成26年度)	60%
4	献血者数(健康増進課)	593人 (平成26年度)	800人
5	国民健康保険特定保健指導実施率(保険年金課)	8.5% (平成26年度)	30%

施策 302 子育て支援の充実

目指す姿

- 子どもがのびのびと個性豊かに育ち、育てられる環境となっている

	指 標	現状値	目標値
1	地域子育て支援拠点の事業か所数(保育課)	6か所 (平成26年度)	7か所
2	児童館数(保育課)	1か所 (平成26年度)	2か所
3	こんにちは赤ちゃん訪問事業の4か月児健康診査までの把握率(健康増進課)	91.4% (平成26年度)	100%
4	通常保育の認可保育所総定員(保育課)	849人 (平成26年度)	1,085人
5	延長保育実施の認可保育所数(保育課)	10か所 (平成26年度)	12か所
6	放課後児童クラブ総定員(保育課)	419人 (平成26年度)	565人

施策 303 高齢者施策の充実

目指す姿

- 意欲や能力に応じて社会参加をしている
- 地域で生きがいを持ち、安心して生活できる環境が整っている

	指 標	現状値	目標値
1	老人福祉センターの利用者数(高齢介護課)	60,802 人 (平成 26 年度)	63,000 人
2	地域包括支援センターの支援件数(高齢介護課)	7,993 件 (平成 26 年度)	9,000 件
3	介護予防教室の延べ参加者数(高齢介護課)	1,637 人 (平成 26 年度)	1,900 人

施策 304 障害者(児)支援の充実

目指す姿

- 自立に向けた支援やサービスを身近な地域で受けている
- 意欲や能力に応じて社会参加をしている
- 地域で活動できる環境が整っている

	指 標	現状値	目標値
1	日常生活用具給付事業利用件数(障害福祉課、こども支援課)	79.7 件/月 (平成 26 年度)	100 件/月
2	移動支援事業利用時間数(障害福祉課、こども支援課)	217.7 時間/月 (平成 26 年度)	220 時間/月
3	地域活動支援センター利用者数(障害福祉課)	58 人/月 (平成 26 年度)	64 人/月
4	障害者就労者数(障害福祉課)	118 人 (平成 26 年度)	150 人

施策 305 地域福祉の推進

目指す姿

- 市民・地域・行政等が協働で取り組むことができる
- 相互理解と支え合いを育てることができる
- 市民・地域の意欲と力を生かすことができる
- だれもが安心していきいきと暮らすことができる

	指 標	現状値	目標値
1	民生委員における地域福祉活動件数(社会福祉課)	4,651 件 (平成 26 年度)	5,200 件 (平成 32 年)
2	地域包括支援センターの支援件数(高齢介護課)	7,993 件 (平成 26 年度)	9,000 件

施策 306 自立した生活への支援体制の充実

目指す姿

- 経済的に自立した生活を送ることができる

	指 標	現状値	目標値
1	就労支援プログラム実施者数(社会福祉課)	26 人 (平成 26 年度)	40 人

施策 307 ノーマライゼーションの推進

目指す姿

- ノーマライゼーションの意識が育まれている
- 公共施設などを安全かつ快適に利用している

	指 標	現状値	目標値
1	公園のバリアフリー化率(都市計画課)	61% (平成 26 年度)	65%
2	桶川市が住みよい所と思う市民の割合(市民アンケート)	45.8% (平成 26 年度)	50%

施策の大綱 4

環境にやさしく安心・安全に住み続けられる桶川をつくる



【市民生活】

地球温暖化など深刻化する環境問題に配慮し、省エネルギー、ゴミの減量化に努めるライフスタイルを推進することが必要です。

また、安心・安全な生活環境を確保し、だれもが快適に暮らすことができるまちをつくる必要があります。

このため、循環型社会の形成に一層取り組み、生物多様性を守ります。また、防災力・防犯力の向上や交通安全対策の充実を図り、市民一人ひとりの生命と財産が守られ、心穏やかに暮らせるまちをつくります。

【各施策において「目指す姿」と達成状況を測るための指標】

施策 401 地球温暖化対策の推進

目指す姿

- 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、温室効果ガスの排出抑制に取り組んでいる

	指 標	現状値	目標値
1	市役所等から発生する温室効果ガスの総排出量の年間削減率(平成 24 年度比)(環境課)	2.9% (平成 25 年度)	2% (平成 29 年度)
2	高効率給湯器設置費補助件数(環境課)	298 基 (平成 26 年度)	300 基
3	住宅用太陽光発電システム設置費補助件数(環境課)	125 基 (平成 26 年度)	150 基
4	環境リーダー数(環境課)	3 人 (平成 26 年度)	5 人
5	日常生活の中で、地球温暖化への取組をしている市民の割合(市民アンケート)	63.9% (平成 26 年度)	75%

施策 402 資源循環型社会の構築

目指す姿

- ごみの発生抑制に努めるとともに、資源として循環的に利用している
- 適正な一般廃棄物処理を行っている

	指 標	現状値	目標値
1	資源化率(リサイクル推進課)	31.6% (平成 26 年度)	39.8%
2	ごみ排出量(リサイクル推進課)	806g/1人1日 (平成 26 年度)	762g/1人1日
3	事業系ごみ排出量(リサイクル推進課)	4.440t/年 (平成 26 年度)	4,080t/年
4	家庭ごみの収集・処理に満足している市民の割合(市民アンケート)	33.1% (平成 26 年度)	45%

施策 403 快適で衛生的な地域環境の創出

目指す姿

- 日常生活や企業活動のあらゆる場面で、環境に配慮した取組を行っている
- 生活排水を適正に処理している

	指 標	現状値	目標値
1	合併浄化槽設置補助件数(環境課)	3 基 (平成 26 年度)	10 基
2	合併浄化槽の法定検査の実施率(環境課)	5.8% (平成 26 年度)	30%以上
3	狂犬病予防注射接種率(環境課)	64.7% (平成 26 年度)	80%以上
4	音や振動などの静けさに満足している市民の割合(市民アンケート)	27.7% (平成 26 年度)	30%
5	空気のきれいさに満足している市民の割合(市民アンケート)	30.4% (平成 26 年度)	32%

施策 404 防災対策の推進

目指す姿

- 災害等に対して安心で安全な基盤や体制づくりに取り組んでいる
- 防災に関する正しい知識を身に付けている
- 災害発生時に防災情報を迅速・的確に入手し、的確な行動をとることができる

指 標		現状値	目標値
1	自主防災組織率(安心安全課)	95.2% (平成 27 年度)	100%
2	防災関連施設の耐震化率(安心安全課)	96% (平成 27 年度)	100%
3	市内の普通救命講習修了者数(安心安全課)	4,203 人 (平成 26 年度)	6,600 人

施策 405 防犯まちづくりの推進

目指す姿

- 一人ひとりの防犯意識が高まる
- 安心で安全な地域社会実現のため、防犯組織と連携した防犯活動の充実強化を図っている

指 標		現状値	目標値
1	刑法犯認知件数(安心安全課)	741 件 (平成 26 年)	650 件 (平成 32 年)
2	地域防犯推進委員数(安心安全課)	217 人 (平成 26 年度)	220 人
3	防犯協定数(安心安全課)	12 団体 (平成 26 年度)	15 団体
4	防犯灯の設置数(安心安全課)	3,614 基 (平成 26 年度)	3,800 基

施策 406 交通安全対策の推進

目指す姿

- 交通安全意識を高め、安全で安心な交通社会で生活している
- 交通安全施設が整備されることによって、安心して通行することができる

指 標		現状値	目標値
1	交通事故発生件数(安心安全課)	347 件 (平成 26 年)	280 件 (平成 32 年)
2	道路反射鏡整備管理基数(安心安全課)	1,086 基 (平成 26 年度)	1,140 基
3	道路照明灯管理基数(安心安全課)	1,589 基 (平成 26 年度)	1,610 基

施策 407 安全な消費生活の確保

目指す姿

- 自立した消費活動を行うための正しい知識、情報を持っている
- 被害を回避し、又は予防している

指 標		現状値	目標値
1	消費生活展来場者数(自治文化課)	300 人 (平成 26 年度)	350 人
2	消費生活相談件数(自治文化課)	267 件 (平成 26 年度)	300 件

施策の大綱5

みどりと調和した 暮らしやすい桶川をつくる



【みどり・都市基盤】

本市は、広域幹線道路の整備が進められる一方で、荒川などの河川、屋敷林、雑木林などの郊外のみどりによる憩いの自然空間や市街地における街路樹・公園などの多様なみどりがああります。

みどりを保全、活用しながら、計画的な土地利用や乱開発を抑制するためのルールづくりを進めます。また、魅力ある中心市街地、新市街地における地域生活拠点を形成するとともに、バリアフリー化など安全で暮らしやすい環境を整備することによって、人にやさしい、みどり豊かで快適な空間があるまちをつくれます。

【各施策において「目指す姿」と達成状況を測るための指標】

施策 501 良好な住環境の創出と保全

目指す姿

- 住環境に配慮され、かつ、災害に強く、安心して住み続けられるよう計画的に整備が進められている

	指 標	現状値	目標値
1	土地区画整理事業施行地区の使用収益開始率(区画整理課)	82.3% (平成 26 年度)	100%
2	木造住宅・市有建築物の耐震化率 (上段:木造住宅、下段:市有建築物)(建築課)	82% 88% (平成 26 年度)	95% 100%
3	下水道普及率(下水道課)	77.6% (平成 26 年度)	78.6%
4	住み続けたいと思う市民の割合(市民アンケート)	58.6% (平成 26 年度)	60%

施策 502 歩いて暮らせるまちの実現

目指す姿

- まちの顔としてにぎわっている
- 生活に必要な機能が備わり、暮らしやすいまちになっている
- 安全で利便性の高い交通網が整備され、円滑に移動できる

	指 標	現状値	目標値
1	桶川駅東口駅前広場及び駅東口通り線のうち駅前広場から中山道までの部分の整備に伴う用地買収率 (駅東口整備推進課)	21% (平成 26 年度)	100%
2	桶川駅の 1 日平均乗車人員(企画調整課)	26,161 人 (平成 26 年度)	26,200 人
3	循環バス年間乗車人数(安心安全課)	289,200 人 (平成 26 年度)	300,000 人

施策 503 魅力あるまちづくりへの新たな取組

目指す姿

- 市街地では統一感のあるまち並みについて、郊外では豊かな田園の景観について、保全・活用するための取組がなされている

	指 標	現状値	目標値
1	乱開発抑止のためのパトロールの実施回数(都市計画課、農業委員会、建築課、環境課、リサイクル推進課)	1 回 (平成 26 年度)	2 回
2	市内に優れた景観があると思う市民の割合(市民アンケート)	7.4% (平成 26 年度)	12%

施策 504 都市計画道路の整備

目指す姿 ●市内外とのアクセスが向上し、安全かつ快適に道路を利用することができる

指 標		現状値	目標値
1	都市計画道路の整備率(街路・大規模道路推進課)	57.6% (平成 26 年度)	75%
2	道路の整備状況に満足している市民の割合(市民アンケート)	10.5% (平成 26 年度)	18%

施策 505 生活道路の整備・改善

目指す姿 ●いつでも安全で快適に道路を利用することができる

指 標		現状値	目標値
1	通学路の計画路線における新規歩道整備延長(道路河川課)	1,050m (平成 26 年度)	1,350m
2	身近な生活道路の状況が良くなったと感じている市民の割合(市民アンケート)	15.5% (平成 26 年度)	20%

施策 506 憩いの自然空間の保全と活用

目指す姿 ●保全・再生され、身近に触れあう機会がある
●活用されることによって、日常生活に潤いを与えている

指 標		現状値	目標値
1	市民緑地等の契約面積(環境課)	21,674 m ² (平成 26 年度)	50,000 m ²
2	緑化ボランティア人数(保険加入者数)(環境課)	77 人 (平成 26 年度)	100 人
3	保存樹木の指定数(環境課)	70 本 (平成 26 年度)	80 本
4	みどりの豊かさなどの自然環境に満足している市民の割合(市民アンケート)	35.5% (平成 26 年度)	40%
4	川などの水辺と親しめる環境に満足している市民の割合(市民アンケート)	13.7% (平成 26 年度)	15%

施策 507 みどり空間の創出

目指す姿 ●市民活動などによって守られ、育まれている
●市民の憩いの場になるとともに、防災拠点としての機能も備えている

指 標		現状値	目標値
1	人口 1 人当たりの都市公園面積(都市計画課)	2.75 m ² (平成 26 年度)	2.82 m ²
2	桶川市ハート&ハンド道路サポート制度登録者数(道路河川課)	74 人 (平成 26 年度)	180 人
3	子どもの遊び場や公園などに満足している市民の割合(市民アンケート)	12.5% (平成 26 年度)	15%

施策 508 治水対策の推進

目指す姿 ●冠水などによる被害から守られている

指 標		現状値	目標値
1	市道冠水路線数(道路河川課)	25 路線 (平成 24 年度～平成 26 年度平均)	18 路線
2	地区単位での水路台帳整備数(道路河川課)	1 地区 (平成 26 年度)	3 地区



【産業】

まちや経済の活性化のためには、定住人口・交流人口を増やすとともに、産業経済基盤の確立が不可欠です。

このため、農業、工業、商業、観光業をはじめ、市民生活を支える多様な産業の連携や振興を図ることが必要です。また、中心市街地の活性化を推進することは、本市の重要な課題です。さらに、広域交通網の結節点という交通利便性をいかして、企業誘致・沿道サービスの立地促進などを含め、雇用の創出など各種振興策を検討、実行することにより、にぎわいにあふれ、活力がみなぎるまちをつくります。

【各施策において「目指す姿」と達成状況を測るための指標】

施策 601 農業の振興

目指す姿

- 効率的で安定的な経営を行っている
- 安定した生活基盤が整っている
- 安心・安全な食べものを手に入れることができる
- 地産の農畜産物を積極的に購入している
- 農業を理解し、親しんでいる

	指 標	現状値	目標値
1	認定農業者数(農政課)	49人 (平成26年度)	60人
2	荒廃農地の面積(農業委員会)	59ha (平成26年度)	30ha
3	農産物直売所数(農政課)	3か所 (平成26年度)	4か所

施策 602 工業の振興

目指す姿

- 事業活動の維持・発展に必要な経営基盤を確保・確立している
- 企業が進出しやすい環境が整っている

	指 標	現状値	目標値
1	工場数(産業観光課)	91か所 (平成25年)	95か所 (平成32年)
2	製造品出荷額等(産業観光課)	1,169億円 (平成25年)	1,220億円 (平成32年)
3	誘致企業の立地件数(産業観光課、都市計画課)	0件 (平成26年度)	2件
4	工業系用地面積(都市計画課)	121.8ha (平成26年度)	135.8ha

施策 603 商業の振興

目指す姿

- 適切な経営支援を受けることによって、消費者のニーズに合った商業活動を行っている
- 市内で多様な買い物サービスが提供され、買い物客で賑わっている

	指 標	現状値	目標値
1	小売業商店数(産業観光課)	342店舗 (平成24年度)	345店舗
2	小売業年間商品販売額(産業観光課)	436億円 (平成24年度)	440億円
3	商店会会員数(産業観光課)	167人 (平成26年度)	170人

施策 604 観光の振興

目指す姿

- 地域資源を発掘・活用することによって、多くの人が訪れ、楽しむことができる
- 観光情報が市内外に発信されることによって、多くの人の関心が集まっている

	指 標	現状値	目標値
1	観光入込客数(祭りなど)(産業観光課)	53.8 万人回 (平成 26 年度)	56.4 万人回
2	べに花ふるさと館来場者数(自治文化課)	99,770 人 (平成 26 年度)	150,000 人
3	ガイドボランティア数(産業観光課)	25 人 (平成 26 年度)	28 人
4	フィルムコミッション数(産業観光課)	2 件 (平成 26 年度)	5 件

施策 605 就労支援と勤労者福利厚生 の 充 実

目指す姿

- 就労に関する情報提供や相談を受ける体制が整っている
- 健康で安心して働ける体制が整っている

	指 標	現状値	目標値
1	市内就業者数(産業観光課)	35,844 人 (平成 22 年度)	37,000 人
2	就職相談開催回数(産業観光課)	2 回 (平成 26 年度)	4 回



施策の大綱 7

計画的で将来を見据えた 桶川をつくる



【行財政運営】

社会経済情勢の変化に対応していくため、行政組織の合理化・活性化、職員の資質向上などの行財政改革を着実に実行し、財政基盤の強化を図ります。また、広報広聴の充実を図り、情報公開に努め、開かれた市政を目指します。

近隣広域行政圏との連携と協力を進めることによって、ごみ処理施設整備などの課題に早期に取り組んでいきます。また、市民の利便性の向上を図るため、防災機能やコミュニティ機能などを備えた新しい市庁舎の建設を進めます。

経営的な視点を取り入れた行政評価システムの活用と財政基盤の強化を図り、効果的・効率的な行財政運営を展開し、将来を見据えたまちをつくります。

【各施策において「目指す姿」と達成状況を測るための指標】

施策 701 計画行政の推進

目指す姿

- 計画に基づき的確に推進されている
- 効果的・効率的な組織を構築している
- 質の高い行政サービスを提供している

	指 標	現状値	目標値
1	総合振興計画(後期基本計画)の取組実施件数の割合(企画調整課)	—	100%
2	職員 1 人当たりの市民の数(職員課)	173 人 (平成 26 年度)	169 人
3	職員研修延べ参加者数(職員課)	418 人 (平成 26 年度)	450 人
4	窓口・電話口での職員対応に不満である市民の割合(市民アンケート)	10.8% (平成 26 年度)	7%
5	住民票等、各種証明書発行サービスの利便性に不満である市民の割合(市民アンケート)	8.5% (平成 26 年度)	6%

施策 702 経営的な視点からの財政運営

目指す姿

- 計画に沿って、持続可能な財政運営が行われている

	指 標	現状値	目標値
1	実質公債費比率(財政課)	4.8% (平成 26 年度)	8.2%
2	財政調整基金残高比率(財政課)	13.0% (平成 26 年度)	10.0%
3	市税の収納率(現年)(収税課)	99.6% (平成 26 年度)	99.6%

施策 703 情報共有の推進

目指す姿

- 市政に関するさまざまな情報が共有されている

	指 標	現状値	目標値
1	市ホームページアクセス数(秘書広報課)	18,852 件/月 (平成 26 年度)	20,000 件/月
2	市政情報を十分に得られていると感じている市民の割合(市民アンケート)	58.3% (平成 26 年度)	65%

施策 704 広域行政の推進

目指す姿

- 広域的な課題に取り組み、市民サービスの拡充や行政サービスの効率化・安定化が図れている

	指 標	現状値	目標値
1	公共施設の相互利用の対象施設数(企画調整課)	84 施設 (平成 26 年度)	100 施設
2	近隣自治体との共同事業の実施回数(企画調整課)	1 回 (平成 26 年度)	3 回

基本事業一覧

施策の大綱1 だれもが主役の桶川をつくる

施策 101 協働の推進

- 1011 市民の意識啓発
- 1012 協働のしくみづくり
- 1013 市民活動の支援
- 1014 協働推進体制の構築

施策 102 自主的活動の推進と交流促進

- 1021 まちづくりの担い手への支援
- 1022 自主的活動を支援するしくみの確立
- 1023 国際交流活動の推進

施策 103 男女共同参画社会の推進

- 1031 男女共同参画推進のための環境づくり
- 1032 男女平等を基本にした教育・啓発の推進
- 1033 男女共同参画を推進する支援策の充実

施策の大綱2 ^{はぐく}生きる力を育み 次代に繋げる桶川をつくる

施策 201 就学前教育の支援・充実

- 2011 家庭の教育力の向上
- 2012 幼・保・小の連携を支援するための環境整備
- 2013 幼稚園就園奨励費の拡充

施策 202 学校教育の充実

- 2021 知・徳・体の教育の充実
- 2022 学校教育への支援の充実
- 2023 学校施設の整備

施策 203 青少年の健全な育成

- 2031 生きる力を育む活動の充実
- 2032 青少年育成活動の支援と推進
- 2033 非行防止の推進

施策 204 生涯学習・生涯スポーツの充実

- 2041 多様な学習機会の提供
- 2042 地域スポーツ活動の推進
- 2043 人材の育成と活用
- 2044 活動団体支援の充実
- 2045 施設の充実
- 2046 放課後子供教室の設置・充実

施策 205 人権教育・啓発と平和の推進

- 2051 人権教育の推進
- 2052 人権意識の啓発
- 2053 平和意識の啓発

施策 206 文化・芸術の振興・保存・継承

- 2061 文化芸術活動の支援
- 2062 活動内容の充実
- 2063 個性的な地域文化の活用
- 2064 文化財の保存と継承

施策の大綱3 共に支え合い いきいきと暮らせる桶川をつくる

施策 301 健康づくりの推進・医療の充実

- 3011 地域保健活動の推進
- 3012 地域医療体制等の充実
- 3013 保険制度の適正な運営

施策 302 子育て支援の充実

- 3021 子育てにより魅力を感じる環境の整備
- 3022 働きながら子育てするための施設・制度の充実と意識啓発
- 3023 どの子も健やかに育ち、育てられる環境の整備

施策 303 高齢者施策の充実

- 3031 生きがい活動の推進
- 3032 介護サービスの充実
- 3033 地域包括ケアの推進

施策 304 障害者(児)支援の充実

- 3041 障害者(児)の生活・社会参加支援
- 3042 就労の促進
- 3043 障害者(児)医療の充実

施策 305 地域福祉の推進

- 3051 地域支援体制の整備
- 3052 地区社協活動の支援
- 3053 福祉サービスの情報提供体制の整備

施策 306 自立した生活への支援体制の充実

- 3061 自立へ向けての支援

施策 307 ノーマライゼーションの推進

- 3071 ノーマライゼーションへの理解と啓発
- 3072 ユニバーサルデザインのまちづくり

施策の大綱4 環境にやさしく安心・安全に 住み続けられる桶川をつくる

施策 401 地球温暖化対策の推進

- 4011 環境施策の推進
- 4012 市民、事業所等との啓発及び協働による環境対策の充実
- 4013 環境に負荷の少ないクリーンエネルギー普及促進
- 4014 環境学習の充実

施策 402 資源循環型社会の構築

- 4021 資源循環型社会の情報提供及び普及啓発
- 4022 ごみ処理体制の確立
- 4023 ごみ排出の抑制
- 4024 地域との協働等による資源対策

施策 403 快適で衛生的な地域環境の創出

- 4031 生活排水処理施設対策の推進
- 4032 身近な生活環境の充実とルールへの周知
- 4033 公害監視体制の充実

施策 404 防災対策の推進

- 4041 防災体制の強化
- 4042 地域防災力の向上
- 4043 防災設備・物資の充実
- 4044 消防力の強化

施策 405 防犯まちづくりの推進

- 4051 防犯意識の高揚
- 4052 自主的防犯活動に対する支援
- 4053 地域との協働による防犯まちづくりの推進
- 4054 犯罪防止環境の整備

施策 406 交通安全対策の推進

- 4061 交通安全意識の啓発
- 4062 交通安全施設の整備
- 4063 交通安全計画づくり

施策 407 安全な消費生活の確保

- 4071 消費者意識の向上
- 4072 消費生活相談の充実

施策の大綱5

みどりと調和した
暮らしやすい桶川をつくる

施策 501 良好な住環境の創出と保全

- 5011 計画的な土地利用の推進
- 5012 既成市街地におけるまちづくりの推進
- 5013 新市街地整備の推進
- 5014 良好な住宅・住宅地の誘導
- 5015 田園地域の保全
- 5016 災害に強い建物づくりの推進
- 5017 上水道の安定供給
- 5018 公共下水道の整備と維持管理

施策 502 歩いて暮らせるまちの実現

- 5021 魅力ある中心市街地の形成
- 5022 地域生活拠点の形成
- 5023 コミュニティ拠点の形成
- 5024 公共交通の充実

施策 503 魅力あるまちづくりへの新たな取組

- 5031 景観形成のしくみづくり
- 5032 インターチェンジ周辺地域の開発誘導
- 5033 乱開発の抑止

施策 504 都市計画道路の整備

- 5041 計画的な整備の促進
- 5042 広域幹線道路の充実
- 5043 地域幹線道路の充実

施策 505 生活道路の整備・改善

- 5051 安心して歩ける歩道・自歩道の整備
- 5052 生活道路の整備
- 5053 私道の整備

施策 506 憩いの自然空間の保全と活用

- 5061 緑のまちづくり基本計画の推進
- 5062 生態系の保全・再生
- 5063 河川風景の保全・再生

施策 507 みどり空間の創出

- 5071 市民の緑化意識の向上
- 5072 公園等の整備・維持管理
- 5073 植樹帯の整備・維持管理

施策 508 治水対策の推進

- 5081 河川・水路の改修及び維持管理
- 5082 雨水貯留浸透施設の維持管理

施策の大綱6

にぎわいと活力ある桶川をつくる

施策 601 農業の振興

- 6011 経営強化の促進
- 6012 田園風景の保全・再生
- 6013 農業を身近に感じられる機会の充実
- 6014 農・工・商連携による産業振興

施策 602 工業の振興

- 6021 経営の支援と円滑な企業活動の促進
- 6022 新たな工業用地の確保と企業誘致の推進

施策 603 商業の振興

- 6031 意欲ある事業者への支援
- 6032 魅力ある商業地の形成

施策 604 観光の振興

- 6041 魅力ある観光地づくり
- 6042 観光推進体制の充実

施策 605 就労支援と就労者福利厚生^{みす}の充実

- 6051 就労支援の充実
- 6052 勤労者福利厚生^{みす}の充実

施策の大綱7

みす
計画的で将来を見据えた
桶川をつくる

施策 701 計画行政の推進

- 7011 計画的な行政運営の推進
- 7012 効率的な組織運営の推進
- 7013 新たな公共の推進
- 7014 利用しやすい市役所づくり

施策 702 経営的な視点からの財政運営

- 7021 持続可能な財政運営の確立
- 7022 安定財源の確保
- 7023 財政運営の理解の促進

施策 703 情報共有の推進

- 7031 広聴・市民相談の充実
- 7032 情報が開かれた市政の実現
- 7033 個人情報の適正管理

施策 704 広域行政の推進

- 7041 広域的な課題に対する地域連携の強化
- 7042 近隣自治体との交流の促進

桶川市第五次総合振興計画後期基本計画【概要版】

発行：桶川市 平成 28 年 3 月

企画・編集：桶川市企画財政部企画調整課

〒363-8501 桶川市泉一丁目 3 番 28 号

TEL：048-786-3211(代表)

E-mail：kikaku@city.okegawa.lg.jp

http://www.city.okegawa.lg.jp